SWOVA128G 複数台接続用ソフト インストール マニュアル

長寿命SSD(型式:SWOVA128G)を同一PCに複数台接続する場合に使用するソフトです。

対応OS

Windows 11, 10

※Windows11(Sモード)、Windows10(Sモード)、およびARM版Windowsには対応しておりません。

- ●管理者権限を持ったユーザーが操作をしてください。
- ●1台のPCに Max 5台の長寿命SSDを接続できます。

操作方法

- 1. 長寿命SSD用の常駐ソフトを終了させてください(通知領域の ¥ アイコンです)。
- ご使用中の長寿命SSDをPCに接続し、正常に認識されていることを確認してください。
 E:やF:などのドライブレターが振られていれば正常に認識されています。
- 次に、新たに購入された長寿命SSD1台をPCに接続してください。
 この段階では、新たな長寿命SSDにはドライブレターが振られていません。
- 4. ダウンロードしたZIPファイルを展開し『adding_WOV.exe』を実行してください。
- 複数台接続用ソフトの「開始」ボタンを押します。
 「設定中」の表示が消え「終了」ボタンが表示されるまで待ちます(5秒程度)。
 まだ「終了」ボタンは押さないでください。
- コントロールパネルの「コンピューターの管理」を開きます。
 Windows 10: コントロールパネル → システムとセキュリティ → 管理ツール
 Windows 11: コントロールパネル → システムとセキュリティ → Windows ツール
- 7. コンピューターの管理(ローカル)の中の「ディスクの管理」をクリックします。
- しばらくすると、ディスクのバーティション情報が表示されますので、その中から オフラインになっているディスクを見つけます。
- オフラインと表示されている文字付近で右クリックして、オンラインを選択します。 (オフラインのドライガ/複数ある場合は容量などを参考に長寿会SSDを選択してください、) しばらくすると、オンラインになり、ドライブレターが振られます。
- 10. 複数台接続用ソフトの「終了」ボタンを押すと、ソフトが終了します。

以上の操作で、同一PCで複数台の長寿命SSDが使用できるようになります。 長寿命SSD用の常駐ソフトを起動(またはPC再起動)してご使用ください。 次頁は、ディスク1がご使用中の長寿命SSD、ディスク2が新たに購入された長寿命SSD の場合の例を示しています。



ご注意

- ●本ソフトウェアは、.NET Framework 4.8を使用します。長寿命SSDの常駐ソフトが動作している環境であれば既に インストールされています。
- ●以下のサイトもご参考になさってください。

ユーザーズガイド最新版 https://www.verbatim.jp/download/usersguide/WOV.pdf WOVシリーズ商品サイトのFAQ https://www.verbatim.jp/products_wov.html

本製品に関するお問い合わせ

バーベイタム製品国内代理店 株式会社アイ・オー・データ機器

バーベイタムお問合せ窓口 050-3116-3022

受付時間9:00~17:00 月~金曜日(祝祭日除く)

URL: https://contact.iodata.jp/sp/verbatim/all